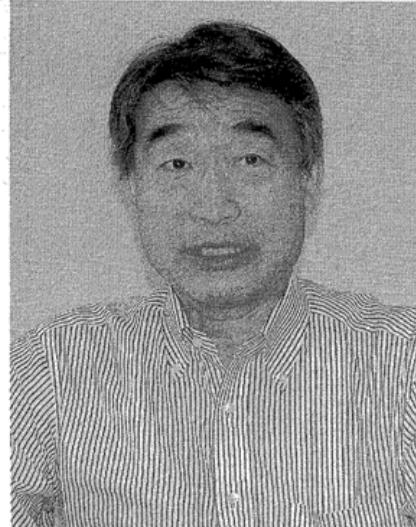


# 放射能問題は「見えない津波」



## 【政界インタビュー】

### 根本 匠氏

自民党・前衆議院議員

ねもと・たくみ 1951年福島県出身。74年東大(経)卒、建設省入省。93年衆院初当選。厚生政務次官、内閣府副大臣、衆院経済産業委員長、内閣總理大臣補佐官(経済財政担当)、党少子化問題委員長、広報本部長、国会対策委員長、税制調査会幹事、政務調査会副会長等を歴任。衆院福島2区で當選5回、2009年衆院選で惜敗。10年、東北志士の会を結成。郡山市防災対策アドバイザー

ある根本匠は自民党前衆議院議員は原発事故を含めた東日本大震災被災地の復興へ提言を続けており、「福島の復興なくして日本の復興はない。政治主導で放射能対策等をダイナミックに推進せよ」と強調する。(文中敬称略)

財政・経済政策連

――東日本大震災からの福島の復興状況について、たい」と公園事業で要求してありますか。どうぞ聞かせてください。

根本 咲年はいろいろ提案をしてきましたが、現時点で東日本大震災からの復旧・復興施設は総点検をする必要があると考えています。今回の施策の効果を地域の具体的な点に応えているか、遅れている原因は何か、チェックすべきだということです。典型的なのが復興交付金です。

が、「これには予算が1兆9千億円について、40の対象事業があります。放射能による被害の状況で見るど、福島県全体は3つのエリアに分けられます。一つは放射線量が高く避難して下さいといつて、二つは警戒区域にある浜通りで、津波でやられた地域には適用されるが、それ以外の地域では適用されないといつて、3つあります。放射能による被害の状況で見ると、福島県全体は3つのエリアに分けられます。一つは放射線量が高めで、またと考えています。生民にその地域を力強い復興に導くためにも、いま総合的な戦略。これを専門的除染の実施を図っています。これが、この人口が減ってきて、手当では不十分です。もう一つ

## 政治主導で「福島の復興」を

政治主導で迅速に

今回の災害による被害ですが、宮城・岩手は津波と地震で、福島は津波、地震と波です。工場が出て行く、出しました。

問題点として少し具体的な連携などを実行していく。さるに食・農とのコラボレーションで日本一の健康・医療体

終末期・在宅ケア、福祉の連携などを実行していく。さるに食・農とのコラボレーションで日本一の健康・医療体

は高い技術が高く、制度的にも欠陥が立ちます。被災地に寄り添った再構築が必要です。大前提として、東日本大震災と阪神淡路大震災の質的な違いを改めて整理する。

本格復興に向けての考課科学技术会議を司令塔に国際化するため、特区に根本的な問題は何かを明らかにします。まず、地域整備を再生することに充てるという方式です。10年くらい過ぎた時点での賃料はローンの返済金を支払うが、その賃料はロードによっては無理なことがあります。

戻すという復旧だけでなく、きたと考えています。生民にその地域を力強い復興に導くためのためにも、いま総合的な戦略。これを専門的除染の実施を図っています。これが、この人口が減ってきて、手当では不十分です。もう一つ

が、科学技術会議を司令塔に国際化するため、特区に根本的な問題は何かを明らかにします。まず、地域整備を再生することに充てるという方式です。10年くらい過ぎた時点での賃料はロードによっては無理なことがあります。

科学技术会議を司令塔に国際化するため、特区に根本的な問題は何かを明らかにします。まず、地域整備を再生することに充てるという方式です。10年くらい過ぎた時点での賃料はロードによっては無理なことがあります。